様式－専門部ルール

京都府高等学校体育連盟主催事業における
新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専 門 部 名 ： サッカー専門部　　専門部

策 定 日 ： 令和 3 年 4 月 10 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- 大会参加予定校の20%以上の学校が、参加を辞退した場合、大会は中止する。
  また、府内の感染状況によっては20%の辞退校がでない段階でも中止とする場合がある。
  但し、上位大会に繋がる場合はこの限りでない。

2、大会参加条件について

- 大会参加者に２週間前から健康管理を行い、大会当日は選手及びチーム関係者に健康チェックシートを提出させる。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- （まず、当日の朝の検温にて37.5℃以上の発熱時は参加を自粛させるよう参加チームへ周知徹底する。）
- 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- 抽選会前に、辞退が決定した場合は、参加申込の取りやめとし、参加料は返還する。
- 抽選会後（大会期間中を含む）に、辞退が決定した場合は、再抽選はせず、不戦敗とする。なお、参加料は返還しない。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- エントリーメンバー以外でも、部に所属する生徒は来場可。
- 来場者については、感染状況に応じて、制限する。
- 発声を伴う応援は禁止する。

6、専門部独自の感染症対策について

○ 会場において

- 更衣は素早く済ませ、更衣室から早く出る。更衣室が狭い場合は、更衣の順番のローテーションを組む等の工夫をし、他チームと接触しないようにする。更衣終了後は窓やドアを開放する。

○ 競技において

- ミーティングは、回数・時間を減らす、もしくは行わない。
- 円陣（試合前ミーティングにおける士気高揚のための円陣、キックオフ・PK戦の直前の円陣を含む）については、次の条件付きで認める。①社会的距離（最低１m）を確保している、②２人以上が同時に発声しない、③一人のみが大きくない声で話す。
- 握手やハイタッチ等は行わない。
- 試合開始前、選手・審判が１m程度の距離を空けてピッチ中央に整列し、審判の合図でベンチに礼をする。コイントスは、主審と両チームのキャプテンにより行う。相手チーム・審判への握手はしない。
- チームの集合写真撮影は可とするが、社会的距離（最低１m）を保つ。
- ボトル、タオル等を他者と共有しない。（気温等に関係なく、前後半とも飲水タイムを設定する）

○ 役員・その他において

- 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手等はマスクを着用する。（ただし、指示を与える場合を除く）
- チーム責任者は、参加者に会場地までの往復途上における感染防止対策についても指導すること。

令和3年4月10日

コロナ対応ルール（2021版）

京都府高体連サッカー専門部

日程の公開の可否、来場制限等は各大会要項や抽選会の案内等で確認し、遵守する。

【様式1】健康チェックシート　【様式2】チームチェックシート　【様式3-1】来場者名簿（役員、審判、学校関係者等）【様式3-2】来場者名簿（保護者用）

シーン	項目	対応者・関与者					
		顧問	コーチ	生徒	審判	会場校	専門部
1 当日 までに	(1) チーム感染対策責任者、会場感染対策責任者を定める。 ※ 各高校会場の場合 → 会場校チーム感染対策責任者が会場感染対策責任者 公共施設の場合 → 競技部担当者が会場感染対策責任者 抽選会等の場合 → 専門部委員長が会場感染対策責任者	○					
	(2) 参加に係る注意事項や**【コロナ対応ルール】**の内容をチーム関係者・選手・保護者に周知徹底を図る。	○	○	○			
	(3) 参加者や来場者については各大会要項や抽選会案内、または専門部からの連絡で定められている条件をチーム内（学校関係者、指導者、選手やマネージャー、OBやOG、保護者）で周知徹底を図る。なお、各会場での「入場チェック」がある場合は参加校で分担して行うこととする。	○	○	○		○	
	(4) 2週間前から健康管理を行い、大会や事業当日は選手及びチーム関係者に【様式1】健康チェックシートを提出させる。	○	○	○	○		
	(5) 専門部が消毒等感染防止等に必要な物品（消毒液、ペーパータオル、液体石けん、掲示物）を準備し、当日までに会場校に届ける。					○	○
	(6) 感染者・濃厚接触者等が出た場合は、保健所の指示に従うとともに委員長に連絡する。	○	○	○	○	○	○
2 試合当日 抽選会等 の当日	**往復の移動**						
	(1) 会場への往復ではマスクを着用する。	○	○	○	○		
	(2) 公共交通機関等の利用時にはラッシュや混んでいる車両を避け、換気等の工夫を行う。また、常に他者との距離を取り、会話を控える。	○	○	○	○		
	会場準備・入場チェック						
	(3) 会場校は入場チェックに必要な長机等を用意する。会場入口が複数ある場合は制限する等の動線も検討する。					○	
	(4) 入場制限に関する掲示物を会場入口等に掲示する。					○	
	(5) 各校の会場入口で入場者を制限するため「入場チェック」を行う。	○				○	
	(6) **「入場チェック」担当者は、役員、審判、学校関係者等には、【様式3-1】に必要事項の記入を求める。スカウティングの入場は1名のみ可とし、【様式1】を提出させる。 保護者の来場が可能な場合は【様式3-2】に必要事項の記入を求める。来場可能人数は別途連絡される人数とする。無観客の場合は保護者の来場は認めない。**	○				○	
3 試合前	**会場到着後**						
	(1) 会場校は会場運営上の注意事項を各チームに伝える。	○				○	
	(2) チーム感染対策責任者は、チーム全員（顧問・指導者・選手・応援部員・マネージャー等）から【様式1】を回収する。 ※発熱やかぜ症状、体調不良等の場合は、参加を見合わせる。	○	○	○			
	(3) 更衣は素早く済ませ、更衣室から早く出る。更衣室が狭い場合は、更衣の順番のローテーションを組む等の工夫をし、他チームと接触しないようにする。更衣終了後は窓やドアを開放する。	○	○	○		○	
	(4) チームは、メンバー表、選手証、【様式2】を会場本部に提出する。<u>（【様式1】は各校1箇月以上保管する。）</u> <u>但し、準々決勝以降はメンバー用紙記載の選手全員の【様式1】も一緒に本部に提出する。</u>	○				○	
	(5) 会場本部はメンバー表と選手証、【様式1】【様式2】を照合した後、チームに返却する。	○				○	
	ウォーミングアップ						
	(6) ウォーミングアップ時、指導者・スタッフ・選手はマスクを着用しなくてもよい。	○	○	○			
	(7) プレーに対する技術的・戦術的コーチングやアドバイス等を除き、ブラジル体操のような隊列を組んだ体操等の声出しはチームで1名のみ許可するが、その声は大声でないこととする。また、基礎練習等での回数カウントの場合においても、大声にならないようにする。 ※一定距離を確保する、前後に並ばない隊列といった客観的な観点から感染拡大防止策を講じているとしても、複数での声出しは認めない。	○	○	○			
	試合開始直前						
	(8) ミーティングは、回数・時間を減らす、もしくは行わない。	○	○	○			
	(9) 円陣（試合前ミーティングにおける士気高揚のための円陣、キックオフ・PK戦の直前の円陣を含む）については、次の条件付きで認める。①社会的距離（最低1m）を確保している、②2人以上が同時に発声しない、③一人のみが大きくない声で話す。	○	○	○			
	(10) 握手やハイタッチ等は行わない。	○	○	○	○		
	(11) 試合開始前、選手・審判が1m程度の距離を空けてピッチ中央に整列し、審判の合図でベンチに礼をする。コイントスは、主審と両チームのキャプテンにより行う。相手チーム・審判への握手はしない。			○	○		
	(12) チームの集合写真撮影は可とするが、社会的距離（最低1m）を保つ。			○	○		
4 試合中	**試合関係者のコミュニケーション、給水等**						
	(1) 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手等はマスクを着用する。（ただし、指示を与える場合を除く）	○	○	○			
	(2) プレー以外の不要な接触を避ける。（得点後の喜び、交代時の握手等）	○	○	○			
	(3) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	○	○	○	○		
	(4) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり手鼻をかまない。うがいした水をピッチ内に吐かない。			○	○		
	(5) ボトル、タオル等を他者と共有しない。（気温等に関係なく、前後半とも飲水タイムを設定する）	○	○	○	○		
	(6) 水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。	○	○	○			
	(7) サブの選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。	○	○	○			
	ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応						
	(8) ベンチに戻る前や選手交代後、手洗い、うがいをする。			○			
	(9) 怪我をした選手にむやみに接触しない。移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。	○	○	○			
	(10) メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。	○	○	○			
	(11) 試合終了時、選手・審判が1m程度の距離を空けてピッチ中央に整列し、審判の合図でベンチに礼をする。相手選手・審判との握手、試合後の審判や相手チームベンチへの挨拶は行わない。	○	○	○	○		
	応援						
	(12) 応援は声を出して行わない。また、他者と距離を確保するとともにマスクを着用する。			○			
	(13) 鳴り物等による応援等については会場校の指示に従う。（原則、各高校会場では禁止）	○	○	○		○	
5 試合後	(1) ベンチや使用箇所は使用した各チームが消毒する。（消毒液は専門部から会場校に配付される）			○	○	○	
	(2) 他チームとの接触を避けるため、更衣室等での着替えを素早く済ませ、できるだけ早く試合会場から出る。						
	(3) チーム感染対策責任者は、チーム全員（顧問・指導者・選手・応援部員・マネージャー）の【様式1】を1箇月以上保管し、必要に応じて専門部もしくは関係機関に提出する。	○					
	(4) 会場校チーム感染対策責任者は【様式2】【様式3-1】を1箇月以上保管し、必要に応じて専門部もしくは関係機関に提出する。【様式3-2】を各チームに返却する。	○				○	○
	(5) 試合会場のルールに従うとともに、ゴミは持ち帰る。	○	○	○		○	
6 帰宅後	(1) 検温と共に行動記録を書く。	○	○	○	○		
7 事後対応	(1) 委員長は、高体連事務局や当該チームと連携し、必要に応じて各種様式の提出をチーム、会場校に求める。						○
	(2) 帰宅後14日以内にチーム等から感染者が出た場合は、本専門部に速やかにその旨伝え、必要に応じて【様式1】を提出する。	○	○	○	○	○	○

（様式１）健康チェックシート【選手･チーム関係者→チーム感染対策責任者】京都府高体連サッカー専門部主催事業用

本シートは、京都府高体連サッカー専門部が開催する各種大会、抽選会等において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本シートに記入いただいた個人情報については、チームの感染対策責任者が大会等の当日から１箇月以上厳正に管理し、チーム関係者等の健康状態の把握、来場可否の判断および必要な連絡のためにのみ使用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等の関係機関に提供することがあります。

＜基本情報＞

チーム名		
代表者 連絡先		
選　　手 チーム関係者	フリガナ	
	氏　　名	
	電話番号	－　　－

＜大会や事業当日の体温＞

日付	起床時体温
/　　（　　）	℃

＜大会や事業当日における健康状態＞　　※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
①　平熱を超える発熱がない	
②　咳（せき）、のどの痛みなどの　風邪症状がない	
③　だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④　臭覚や味覚の異常がない	
⑤　体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥　新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧　過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
⑨　その他、気になること（以下に自由記述）	

上記事項を理解し、活動への参加に同意します。

保護者氏名（自署）

※このシートは、試合開始までにチーム感染対策責任者に提出してください。

（様式２）チームチェックシート【チーム感染対策責任者→会場本部】 京都府高体連サッカー専門部主催事業用

令和　　年　　月　　日（　　）　学校名：　　高等学校　　会場

本日の参加数	チーム関係者（マネージャー含む）　　名、選手　　名

シーン	項目
1　事前準備	(1) チーム感染対策責任者、会場感染対策責任者を定める。 ※　各高校会場の場合　→　会場校チーム感染対策責任者が会場感染対策責任者 公共施設の場合　→　競技部担当者が会場感染対策責任者 抽選会等の場合　→　専門部委員長が会場感染対策責任者
	(2) 参加に係る注意事項や【コロナ対応ルール】の内容をチーム関係者・選手・保護者に周知徹底を図る。
	(3) 参加者や来場者については各大会要項や抽選会案内、または専門部からの連絡で定められている条件をチーム内（学校関係者、指導者、選手やマネージャー、OBやOG、保護者）で周知徹底を図る。なお、各会場での「入場チェック」がある場合は参加校で分担して行うこととする。
	(4) ２週間前から健康管理を行い、大会当日は選手及びチーム関係者に【様式１】健康チェックシートを提出させる。
2　往復の移動	(1) マスクを着用する。
	(2) 公共交通機関等の利用時には、ラッシュや混んでいる車両を避け、換気等の工夫を行う。また、常に他者との距離を取り、会話を控える。
3　試合前	(1) 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。更衣室が狭い場合は、更衣の順番のローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は窓やドアを開放する。
	(2) ウォーミングアップ時、指導者・スタッフ・選手はマスクを着用しなくてもよい。 ※熱中症予防の点から、屋外で他者と十分な距離（少なくとも２m以上）が確保できる場合には、マスクをはずす。
	(3) プレーに対する技術的・戦術的コーチングやアドバイス等を除き、ブラジル体操のような隊列を組んだ体操等の声出しはチームで１名のみ許可するが、その声は大声でないこととする。また、基礎練習等での回数カウントの場合においても、大声にならないようにする。 ※一定距離を確保する、前後に並ばない隊列といった客観的な観点から感染拡大防止策を講じているとしても、複数での声出しは認めない。
	(4) ミーティングについては、回数・時間を減らす、もしくは行わない。
	(5) 円陣（試合前ミーティングにおける士気高揚のための円陣、キックオフ・PK戦の直前の円陣を含む）については、以下の条件付きで認める。 ①社会的距離（最低１m）を確保している。②２人以上が同時に発声しない。③一人のみが大きくない声で話す。
	(6) 握手やハイタッチ等は行わない。
	(7) 試合開始前、選手・審判が１m程度の距離を空けてピッチ中央に整列し、審判の合図でベンチに礼をする。コイントスは、主審と両チームのキャプテンにより行う。相手チーム・審判への握手はしない。チームの集合写真撮影は可とするが、社会的距離（最低１m）を保つこと。
4　試合中	**試合関係者のコミュニケーション、給水等**
	(1) 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。ただし、指示を与える場合を除く。
	(2) プレー以外の不要な接触を避ける.（得点後の喜び、交代時の握手等）
	(3) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
	(4) ベンチでの選手間の距離を保つ。
	(5) サブの選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。
	(6) 水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。
	(7) ボトル、タオル等を他の選手と共有しない。
	(8) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり手鼻をかまない。うがいした水をピッチ内に吐かない。
	(9) 声を出しての応援は行わない。他者との距離を確保するとともにマスクを着用する。鳴り物等による応援等については会場校の指示に従う。（原則、各高校会場では禁止）
	ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応
	(1) ベンチに戻る前や選手交代後、手洗い、うがいをする。
	(2) 怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。
	(3) メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。
	(4) 試合終了時、選手・審判が１m程度の距離を空けてピッチ中央に整列し、審判の合図でベンチに礼をする。相手チーム・審判への握手、試合後の審判や相手チームベンチへの挨拶は行わない。
5　試合後	(1) 次に試合するチームとの更衣室等での接触を避けるため、着替えを素早く済ませ、できるだけ早く試合会場から出る。
	(2) 試合会場のルールに従い、ゴミは持ち帰る。
6　帰宅後	(1) 検温と共に行動記録を書く。
7　事後対応	(1) 帰宅後14日以内にチーム等から感染者が出た場合は、サッカー専門部に速やかにその旨伝え、必要に応じて健康チェックシートを提出する。

	チェック欄
上記について、本日来場しているチーム関係者、選手全員に周知・徹底しています。	
本日来場しているチーム関係者、選手全員の健康チェックシートを管理しています。	

チーム感染対策責任者：（自署）

※チェック欄を確認・サインをして、試合開始までに会場本部に提出してください。（各チームの会場来場者全員分の様式Ⅰは各チームで保管してください。）

（様式３－１）来場者名簿（役員、審判、学校関係者等）

京都府高体連サッカー専門部主催事業用

令和　　年　　月　　日（　　）　　会場

次の要件を満たしています。感染者等が確認された場合、連絡を取ることを了解します。
①発熱、風邪症状、味覚・嗅覚異常、倦怠感がない。②新型コロナウイルス感染症陽性者、感染を疑われる人との接触がない。
③政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航がない。また、これらの国、地域の在住者や渡航者と接触していない。

	来場者名	所属、役職、審判等	要件☑
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

この名簿は試合終了後必ず会場感染対策責任者に渡してください。

（様式３－２）来場者名簿（保護者用）　京都府高体連サッカー専門部主催事業用

令和　　年　　月　　日（　　）　　学校名　　会場

次の要件を満たしています。感染者等が確認された場合、学校を通じて連絡を取ることを了解します。
①発熱、風邪症状、味覚・嗅覚異常、倦怠感がない。②新型コロナウイルス感染症陽性者、感染を疑われる人との接触がない。
③政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航がない。また、これらの国、地域の在住者や渡航者と接触していない。

	来場者名	年	選手名	要件☑

この名簿は試合終了後必ずチーム感染対策責任者に渡してください。